

夕陽丘基金へのご協力のおねがい

夕陽丘基金は個人の方、グループの募金、寄付で成り立っています。
お預かりしたお金は、緊急保護施設での支援を必要としている人へ、
または支援活動をしている団体に活用されています。

寄付金の振込先

◆郵便振替口座：00990-7-190552

◆口座名義：夕陽丘基金



平成29年度ご寄付いただいた団体のみなさま

大阪市地域女性団体協議会・大阪市ひとり親家庭福祉連合会・大阪Iゾンタクラブ
大阪ヴァイオレットライオンズクラブ・大阪はなみずきライオンズクラブ
国際ソロプチミスト大阪・国際ソロプチミスト大阪－梅田

夕陽丘基金に関するお問合せ先

事務局：一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会

所在地：大阪市天王寺区上汐5-6-25 クレオ大阪中央内

電話番号：06-7656-9040

ひとりで悩まないで、まずは相談してください。

・大阪市配偶者暴力相談支援センター

DV相談専門電話 06-4305-0100
月～金 9:30～17:00

・クレオ大阪女性総合相談センター

総合相談受付 06-6770-7730
悩みの電話相談 06-6770-7700
火～土 10:00～20:30 日・祝 10:00～16:00

DVから逃れて安全を確保したいとき

- ・各区役所 保健福祉課 月～金 9:00～17:30
- ・各警察署 生活安全課 緊急時は110番
- ・子どもに関する相談
大阪市の児童虐待ホットライン 0120-01-7285 24時間対応



DVの防止 被害者の保護・自立支援のための

夕陽丘基金 ニュース

第14号



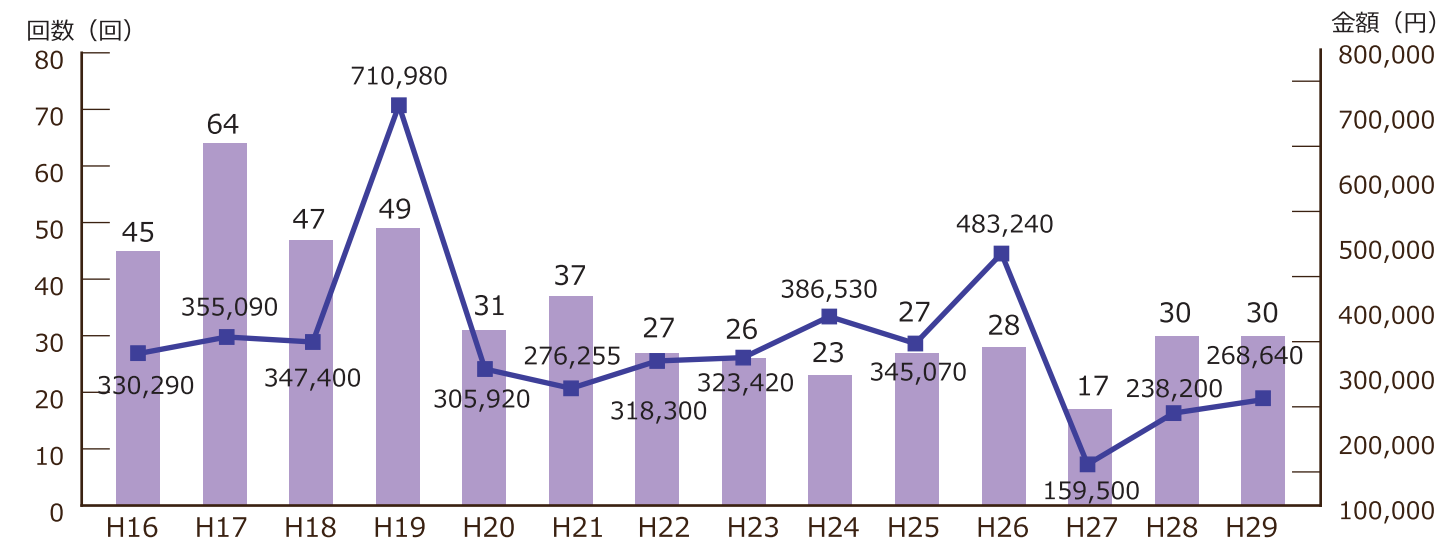
イラスト：夕陽丘基金「手とハート」

発行：一般財団法人大阪市男女共同参画のまち創生協会内 「夕陽丘基金」運営委員会事務局
〒543-0002 大阪市天王寺区上汐5-6-25 T e l : 06-7656-9040 F a x : 06-7656-9045

特集：「夕陽丘基金」～15年のあゆみ～

1. DV被害者の方への支援の状況は？

14年間で のべ481回、4,848,835円の支援を行いました。緊急一時保護施設に入所されたDV被害者の方の保護命令等の手続き費用や生活費、医療費、交通費などに活用していただきました。



2. 夕陽丘基金 設立15周年記念シンポジウム

DV被害者支援の実情 ～「夕陽丘基金」がつないだ15年とこれから～

日時：平成30年11月18日（日）午後1時30分～3時30分

場所：クレオ大阪中央 ホール

プログラム

第1部 代表挨拶・感謝状の贈呈

第2部 講演「DVからの回復」

講師：栗岡多恵子さん（Briza ブリーザ主宰、元タカラジェンヌ）

トークセッション「DVからの回復～当事者と支援の現場から」

細見三英子さん（ジャーナリスト）

栗岡多恵子さん（Briza ブリーザ主宰、元タカラジェンヌ）

大阪市配偶者暴力相談支援センター

◇ 寄付金の収受等

- 寄付総額 1,024,670円
 - ☆大阪市地域女性団体協議会（区 / 分会）
29件 437,913円
 - ☆団体・グループ・個人
59件 400,991円
 - ☆バッジ・絵葉書のチャリティグッズ等 185,766円



◇ 緊急一時保護施設入所のDV被害当事者への資金貸し付け

- 貸付総額 30件 268,640円
(内訳：生活費 70,500円 交通費 35,680円 医療費 27,500円 手続き費用 134,960円)

◇ 緊急一時保護施設対象の助成金の交付

- 6施設に交付 総額 600,000円

◇ 夕陽丘基金講演会

「里親」ってなあに？ ～家庭で暮らせない子どもたちを、地域で支えるために～

日時：平成30年3月3日（土） 午後2時～3時30分

場所：クレオ大阪中央 ホール

プログラム

- 第1部 代表挨拶・活動報告
- 第2部 講演「子どもたちを地域で支えるために
～児童養護施設・乳児院・里親制度の現状～」
講師：橋 裕美さん（大念仏乳児院 里親支援専門相談員）
- 第3部 トークセッション「『里親』ってなあに？」
細見三英子さん（ジャーナリスト）
大津アヤ子さん（四恩学園乳児院 里親支援専門相談員）
福岡さえ子さん（弘済みらい園・のぞみ園 里親支援専門相談員）
橋 裕美さん（大念仏乳児院 里親支援専門相談員）

チャリティグッズ「絵葉書セット」のご案内



四天王寺や一心寺、口縄坂など、夕陽丘の風景を
テーマとした写真の絵葉書を作成しました。

『夕陽の街の朝焼け』

1400年前、青年聖徳太子の祈りから生まれた四天王寺
絵葉書 7枚セット：500円（税込）

「夕陽丘基金」はすべて市民の皆様一人ひとりの募金から成り立ち、DV根絶をめざし、
被害者の方が一日も早く再出発ができるようにという願いをこめた募金です。

■夕陽丘基金の設立

「夕陽丘基金」は大阪市が行う施策と連携して、現在の公的制度で十分な支援が受
けられない状況にあるDV被害者やその同伴者（おもに子ども）に対して、経済的
な援助を行い、心身の回復を図り、自立を支援することを目的に平成16年3月23
日に大阪市の女性団体などが設立しました。「夕陽丘基金」は配偶者からのDVを
逃れて緊急一時保護施設に避難した被害者への支援をおこなっています。



例えばこんなことに活用されています（ほんの一例）

- 保護命令の申請に要する費用（切手代、収入印紙代など）
- 一緒に連れてきた赤ちゃんや幼児の着替え、おむつなど育児用品の購入
- 仕事や家を探すときの交通費、ケガや病気の治療費

募金を活用し、新しい生活を始められた方のなかには、“被害を受けた方にお役立てください”と、お金を
返してくださる方も少なくありません。DVは被害者の多くが女性であり、年々相談件数も増加しています。
DVから生命からがら避難した人の中には配偶者が生活費を渡さない、働くことを邪魔されるといった『経済
的DV』を受けていた人もいて、経済面でのハンデがとても大きい現状があります。

「夕陽丘基金」での活用は、ほんの一例にもあるように金銭的には必ずしも高いものではありませんが、着
の身着のまま避難してきた人にとっては『かけがえのない援助』です。これを再出発の第一歩にして、新し
い生活をスタートさせて頑張っている人が多くおられます。

これからもDVの根絶と、DV被害者の自立を応援する「夕陽丘基金」の活動の輪をもっと広げていくために、
みなさまのご理解とご協力をお願いします。

ドメスティック・バイオレンス（DV）とは

配偶者や恋人など親密な関係にある人やあった人から振られる暴力のことです。

DVには身体的暴力だけではなく、精神的暴力、社会的暴力、経済的暴力、性的暴力、子どもを利用した暴力があります。

身体的暴力	平手でたたく、足でける、突き飛ばす、骨折させる など
経済的暴力	生活に必要なお金を渡さない、お金の使い方を細かくチェックする など
精神的暴力	無視する、人格を否定するようなことを言う、大声でどなる など
性的暴力	嫌がっているのに性的な行為を強要する、見たくないのにポルノビデオを見せる、避妊に協力しない など
社会的暴力	携帯電話の番号やメールを勝手にチェックする、外出や行動を制限・監視する など
子どもを利用した暴力	子どもの前で暴力をふるう、子どもに暴力をふるう、子どもに危害を加えると言って脅す など